

キャッフィーも運動 参加者とともに汗

この日は、今年10月に開催されるスポレク滋賀2008のキャラクター「キャッフィー」もあちこちの会場に出没。参加者の皆さんと一緒に、ポールウォーキング、エアロビクス、長縄飛びなどにチャレンジしながら、スポレク滋賀をPRしました。

スポレク滋賀2008は、10月18日（土）から21日（火）まで県内で開催され、甲賀市ではターゲット・バードゴルフとバウンドテニスが19日（日）、20日（月）の2日間、行われます。



▲甲南のぞみ保育園で園児と体操



▲甲賀B&Gでフラダンス



▲柏木公民館でエアロビクス



東京の広報愛読者から 市長へ手紙届く

「広報あいこうか」は、市内の皆さんだけでなく、市外で生活されながらも甲賀市をふるさとと思っていただいている方にもお届けしています。

この春、愛読者のお一人で東京にお住まいの大家萬次郎さんから、中嶋市長にお手紙をいただきました。

手紙には、広報紙発送に対するお礼や、先代の出身地である土山町鮎河をふるさとのように愛するお気持ちが書かれてありました。

市長は、先日の出張にあわせて、ご本人にお会いしてきました。大家さんは、毎月2回の「広報あいこうか」を楽しみにいただいているとのこと。遠く離れた地にいながらも、甲賀を身近に感じていただけるよう、これからも市内のよい情報を紹介していきます。



▲東京でふるさと甲賀への思いを語る大家さん(左)



▲大村市の松下実行委員長(右)が来市

対戦を前に電話でエール交換をしています。松本市長のメッセージを受け中嶋市長は、お互いのさらなる交流を願ってメッセージを返信しました。

甲賀市として4回目の参加となり、市民の皆さんにもチャレンジデーが浸透してきたようです。今年、参加率では大村市に負けたものの、昨年の参加率38・1%に比べると約10%もの伸びとなっており、意欲的に取り組んでいただけたことがわかります。スポーツにおいて大切なことは、勝敗だけではありません。参加者の皆さんがスポーツを楽しむことが、チャレンジデーの意義でもあります。チャレンジデーは、市民の皆さんが引き続き運動に取り組んでいただく一つのきっかけです。市では、今後もスポーツを通して笑顔あふれる明るく元気なまちづくりをめざします。

参加率 昨年より約10%増！ チャレンジデーは運動への きっかけづくり

対戦終了後の6月2日、大村市チャレンジデー実行委員会の松下委員長が、大村市松本市長のメッセージを持って甲賀市を訪問されました。両市長は、



▲エクスサイズとしても効果的なポールウォーキング

チャレンジデー2008

甲賀市参加率48% 昨年より大幅アップ

住民参加型スポーツイベント「こうかチャレンジデー2008」が5月28日、市内各地で実施され、体を動かすイベントに多くの皆さんが参加されました。子どもからお年寄りまで、みんなが運動に取り組んだ1日を紹介します。

学校・職場・地域などで 44,450人が参加

午前0時から午後9時までの間に15分以上継続して運動を行う「チャレンジデー」。運動といっても激しいスポーツだけではなく、ウォーキングや体操など、年齢や体調に合わせてだれもができる範囲で参加していただきました。

学校行事の一つとして、職場で昼休みを利用して、また区・自治会などで、さまざまな運動が実施されました。その結果、市民の方を中心に44,450人が参加、甲賀市の参加率は48・0%でした。

対戦相手大村市と 友好深まる

チャレンジデーでは、人口規模が同程度の自治体と参加率を競います。今年の対戦相手は、長崎県大村市。大村市は、チャレンジデー初参加ながら参加率は53・8%と、甲賀市を上回る結果となりました。一応の勝敗はつきまじりましたが、両市の市民がひとつになった一日

